

# 豊田PCB廃棄物処理事業だより(No.32)

## 1. 豊田PCB廃棄物処理施設の運転状況について

11月は、コンデンサとトランスについて下記の操業実績表のとおり処理しました。

当月は、運転再開後初めて車載型トランスを1台受入れ、処理しました。車載型トランスとは、電車の車両下部に取り付けていたトランスのことです。車載型トランスは一般のトランスに比べて、構造が複雑で頑丈に製造されているため、抜油方法や解体方法が一般のトランスと異なります。

このため、車載型トランスと大型トランスを同じ処理ラインへ投入し、①同時進行で交互に抜油・解体作業を実施して処理が円滑に進むこと、②設備と作業の安全に支障がないこと、をそれぞれ確認しました。

### 【18年11月の操業実績】

種別	受入台数	抜油・解体台数
コンデンサ	329台	370台
大型トランス	4台	4台
小型トランス	10台	10台
車載型トランス	1台	1台

※ コンデンサは、一時的に立体倉庫で保管してから計画的に処理ラインに投入するので、受入台数と抜油・解体台数に差が生じます。



車載型トランス



大型トランス

## 2. PCB廃棄物の12月受入計画

12月のPCB廃棄物の受入れは、施設の処理計画に合わせ右表のとおり計画しています。

コンデンサは、豊田市内の6保管事業者と愛知県内の3保管事業者から214台を受入れます。また、大型・小型トランスは愛知県内の3保管事業者から13台を受入れ、車載型トランスは静岡県内の保管事業者から1台を受入れます。

なお、12月下旬の定期点検期間中は、PCB廃棄物の受入は行いません。よって、12月の受入計画は11月よりも制限した台数で計画しています。

### 【18年12月の受入計画】

種別	受入予定台数
コンデンサ	214台
大型トランス	1台
小型トランス	12台
車載型トランス	1台

## 3. 豊田市PCB処理安全監視委員会に報告



豊田市PCB処理安全監視委員会



監視委員による運転監視状況の確認(中央制御室)

平成18年度第2回豊田市PCB処理安全監視委員会(委員長:藤江幸一豊橋技術科学大学教授)が、11月17日(金)に豊田PCB廃棄物処理施設で開催されました。

始めに豊田市から、運転再開後の豊田PCB廃棄物処理施設への立入など、市の指導・監督状況について報告されました。

続いて弊社から、①事故対策、安全総点検による抽出項目の整理・活用について、②運転再開後の操業状況等について説明しました。

その後、中央制御室を視察していただき、施設の安全監視や設備の制御、機器操作など運転員の作業状況を確認していただきました。

委員からは、①事故による施設の休止期間(約8ヶ月間)による遅れを、今後どう取り戻すのか、②施設の不具合時には必ずヒヤリハットの有無を確認し、適切な判断を行うこと等のご質問・ご意見をいただきました。

①については、年間50日の運転予備日を活用して順次取り戻す予定で、豊田事業の処理事業完了期日に影響はありません。運転にあたっては各委員の②をはじめとするご意見を踏まえ、安全を最優先に確実な処理を行っていきます。

## 4. 地元関係自治区の施設見学会について

11月27日(月)から12月4日(月)に、地元関係自治区の皆様が豊田PCB廃棄物処理施設を見学されました(6回、延べ47名)。

この見学会は、豊田PCB廃棄物処理施設の運転状況を、市民の目で確認していただくもので、豊田市が企画されました。見学は、PCB処理事業及び収集運搬の説明をさせていただいた後、見学者通路から施設の運転状況を確認していただきました。

自治区の皆様からは、施設の安全操業体制、日常点検の方法や頻度、今後の事故再発防止の管理など貴重なご意見を多数いただきました。ご意見を日常の点検や作業に活かし、安全確実な運転に取り組んでいきます。



施設見学会の状況

## 5. 豊田施設の設備と作業の紹介(受入保管設備)



写真①:フォークリフトによる搬送作業



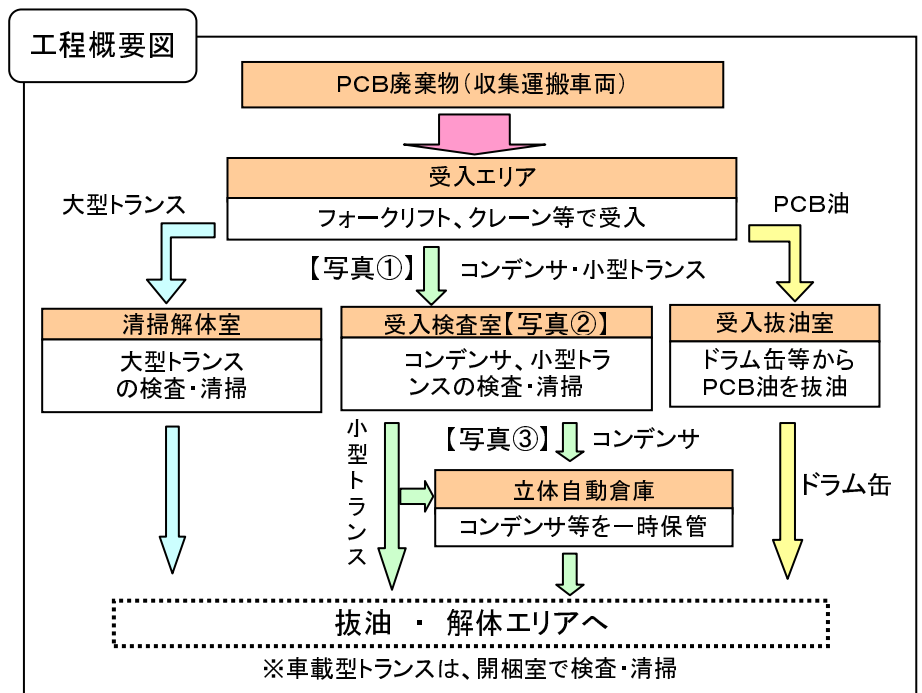
写真②:受入検査室における漏洩検査等



写真③:立体自動倉庫で一時保管

受入保管設備は、PCB廃棄物(トランスやコンデンサ等)を受入れる設備です。収集運搬事業者が搬入したPCB廃棄物をステンレス製の密閉容器に入れたまま、ここで受入れます。この設備の受入工程は、下図のとおりです。

また、PCB廃棄物の受入れとともに、そのマニフェスト伝票の確認、操業管理システムへのデータ入力なども行います。



### 受入・払出グループ長から一言

受入作業は、フォークリフトやクレーンを使って重量物を搬送するため、落下によるPCBの漏洩、下敷き事故、挟まれ事故等の危険が伴います。

受入作業員は、作業前ミーティングで作業手順を確認してから作業を行います。作業員相互の連携は大声での合図と確認を徹底して、常に安全作業を心掛けております。

### 連絡先

日本環境安全事業株式会社(JESCO)

(連絡先) 豊田事業所 0565-25-3110

【豊田事業HP】 <http://www.jesconet.co.jp/facility/toyota/index.html>